

水田地帯での持続的な営農推進

恵庭市（本所地域第一係；重点課題）

1 課題設定の背景

■ 漁太地域の土壌は強粘質土壌と泥炭土壌が多く、偏東風が強い。耕作面積の62%を占める水稲と小麦の収量は、恵庭市平均より低い現状



■ 土質毎の小麦施肥管理技術の向上
■ 水稲初期生育の向上

作物生産の安定化

■ 高齢化・後継者不足により、1戸当たりの規模が拡大



■ 省力化・作業効率の向上、労働力確保対策の導入

省力化対策の実施

2 活動の内容

(1) 土地利用型作物の安定生産

- 土壌断面調査
- 土壌分析
- こまめな生育調査
- MAgIS(生育予測システム)

FAX情報

戸々の生育データと技術対策

即日発信

注意喚起

水稲

リスク回避

水管理技術の向上

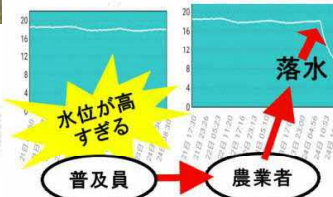
ICTの活用

水田センサー導入



見える化された水位

やりとり後



リアルタイムなやりとりが速やかな水管理の適正化に

秋まき小麦

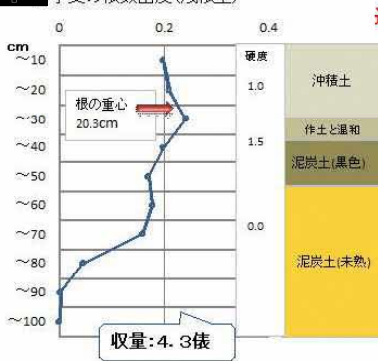


土壌断面調査

どうしていつも細麦なのかなあ…?

ワ～オ！根が浅い

小麦の根数密度(浅根型)



提案

根圏に合わせた、秋まき小麦の追肥

(2) 省力化対策実施による労働時間低減



置床鎮圧実演会



作業時間の測定

RTK-GNSSガイダンスシステム導入



導入コスト抑制のためRTK-GNSS受信機の製作講習会を実施

ICTの活用

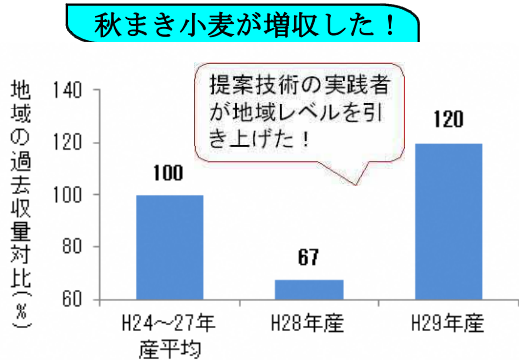
自衛隊OBによる新しい労働力の導入

大型特殊免許を持つ自衛隊OBを農作業オペレーターとして2戸が導入。重点農家が講師となり体験走行会を実施。

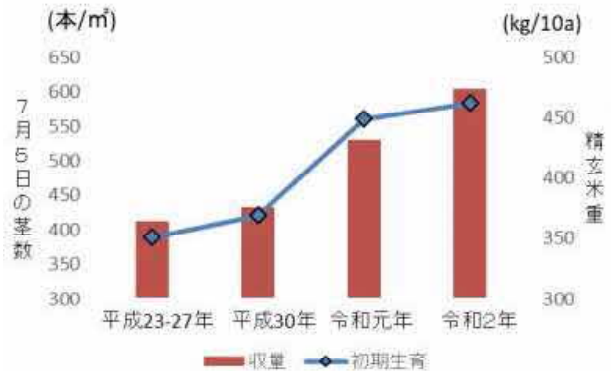


3 活動の成果

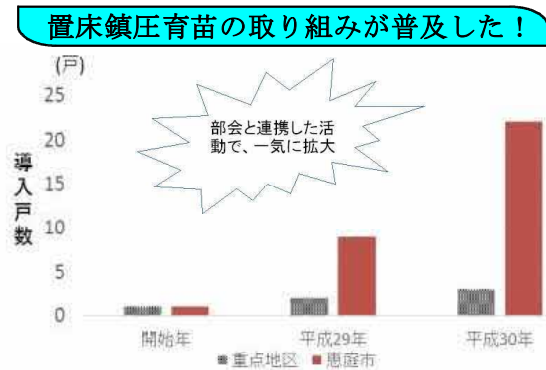
(1) 土地利用型作物の安定生産



水稲初期生育が確保され、増収した！

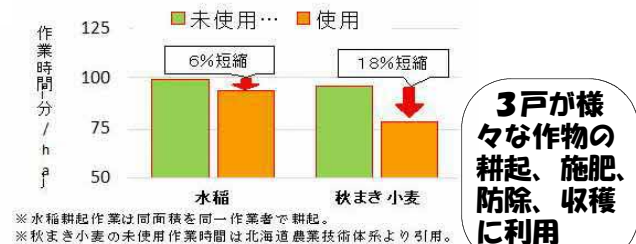


(2) 省力化対策実施による労働時間低減



GNSSガイダンスシステム導入効果

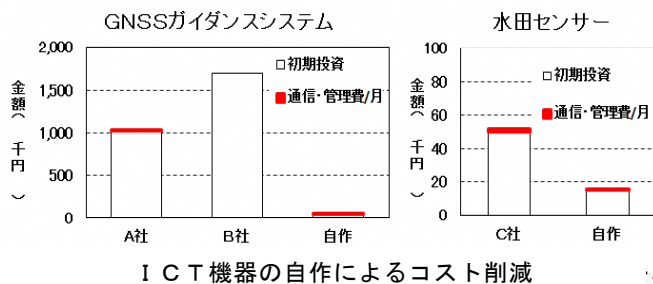
① 作業時間時間が短縮



② 心と体の疲労軽減に



自作によりICT機器の導入コストが削減！

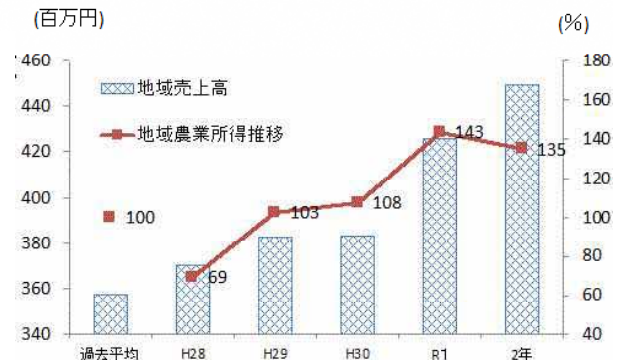


自衛隊OB人材活用

人材確保対策組織が設立した
→ 市内全域へ取組が拡大！

4 今後の対応

次期重点活動は、引き続き恵庭市漁太地域で実施する。全戸アンケート結果に基づき、中核的担い手を支える営農支援システムの構築や、新規就農者が安心して就農できる体制を整備し、持続可能な地域農業を支援する。



重点地域の農業所得推移 (H28~R2)